

**測定記録支援システム BLuE
Windows 版
KEW4505BT/KEW4500BT
ユーザーズマニュアル**

第4版

**2023 年 5 月 22 日
株式会社アネステック**

目次

1 概要	1
2 動作条件	1
3 システム仕様.....	1
4 取扱説明	2
4.1 システムを起動する	2
4.1.1 システムを起動する（BLuE）	2
4.1.2 システムを起動する（BLuE ACD）	2
4.1.3 BLuE リボンメニュー表示	2
4.2 測定ポイント作成	4
4.3 測定器で測定した値を反映する	7
4.4 測定ポイントを既存オブジェクトから作成.....	9
4.4.1 測定ポイントの削除について	12
4.4.2 測定ポイントの復元について	12
4.4.3 ポイント書式編集.....	13
4.5 測定不可.....	13
4.6 個別設定（出力対象）	15
4.7 システムを終了する	15
4.7.1 AutoCAD の図面ファイルを保存する	15
4.7.2 システムを終了する	16
5 FAQ	17

1 概要

本マニュアルは Windows 版 BLuE ACD の特定測定器向けマニュアルです。

本マニュアルでは共立電気計器株式会社 KEW4505BT/KEW4500BT の操作方法について説明します。

2 動作条件

当システムは、下記スペックを満たす Windows PC 上で動作させる事を前提としています。

CPU	2.5GHz 以上（3GHz 以上推奨）Corei5 以上、Ryzen5 以上
メモリ	16GB 以上推奨
HDD	空き 6GB 以上
動作環境	その他の動作条件は当該 PC の動作条件に準じます。

3 システム仕様

当システムは、下記環境で動作させる事を前提としています。

OS	Microsoft Windows10
OS バージョン	20H2、21H1、21H2
AutoCAD バージョン	AutoCAD2020/2021/2022/2023(64bit 版)
通信方式	Bluetooth 4.2（Bluetooth Low Energy）以降

4 取扱説明

4.1 システムを起動する

4.1.1 システムを起動する（BLuE）

(1) デスクトップ上にある専用アイコンからシステムを起動します。



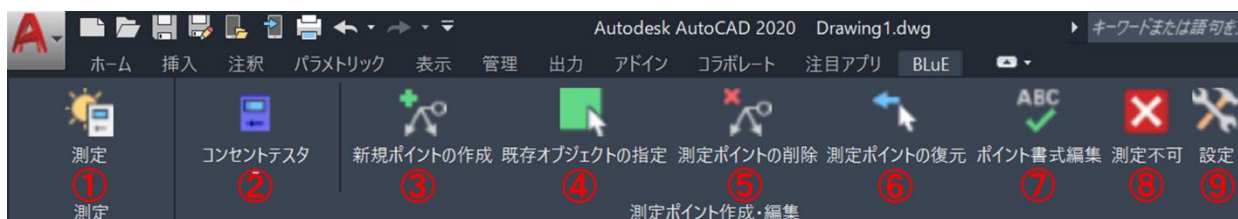
4.1.2 システムを起動する（BLuE ACD）

(1) デスクトップ上にある専用アイコンからシステムを起動します。



4.1.3 BLuE リボンメニュー表示

(1) BLuE ACD アイコン(赤色のアイコン)を押下すると AutoCAD が起動し、BLuE ACD のリボンメニューが表示されます。

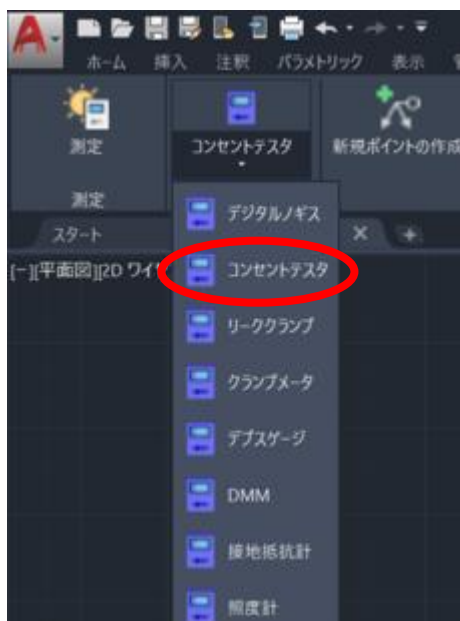


No.	リボンメニュー	機能内容
①	測定	測定器の測定データを測定ポイントへ反映します。
②	種別選択	処理する測定器を選択します。
③	新規ポイントの作成	新規に測定ポイントを作成します。
④	既存オブジェクトの指定	(コンセントテストのみ) Tfas 等で作成したコンセントシンボルを自動的に測定ポイントとして指定します。
⑤	測定ポイントの削除	作成された測定ポイントを削除します。

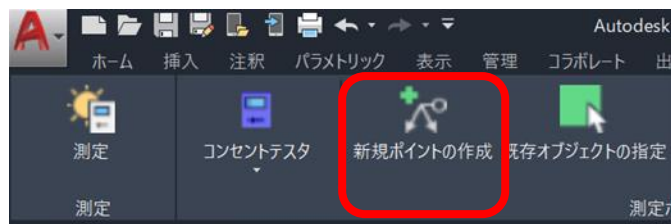
⑥	測定ポイントの復元	削除された測定ポイントを復元させます。
⑦	ポイント書式編集	作成された測定ポイント/測定結果の書式を編集します。
⑧	測定不可	(コンセントテストのみ) 測定ポイント(コンセントシンボル)の色を変更します。
⑨	設定	デフォルトの測定ポイント/測定結果の書式を設定します。

4.2 測定ポイント作成

(1) リボンメニューの「種別選択」で「コンセントテスト」を選択します。



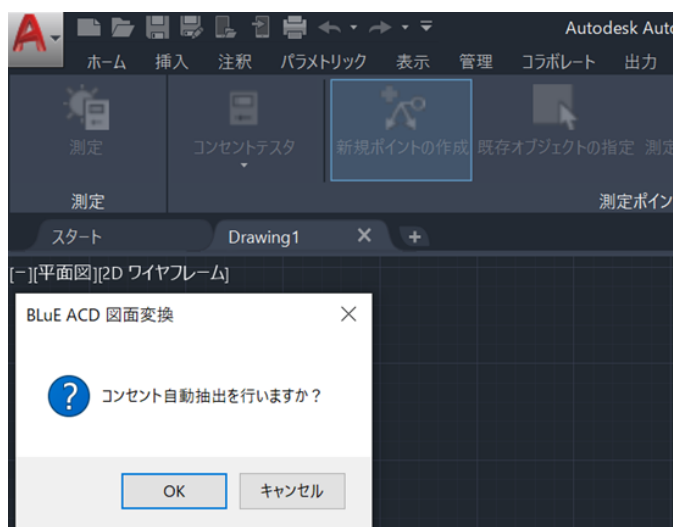
(2) リボンメニューの「新規ポイントの作成」を押下します。



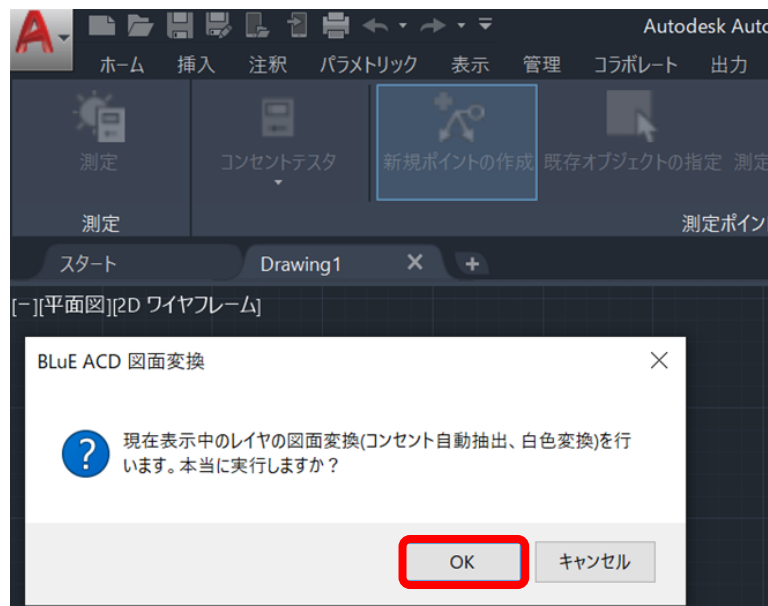
(3) 図面変換ダイアログ"コンセント自動抽出を行いますか?"が表示されます。

OK : 表示されている図面内からコンセントテストの測定ポイントを抽出

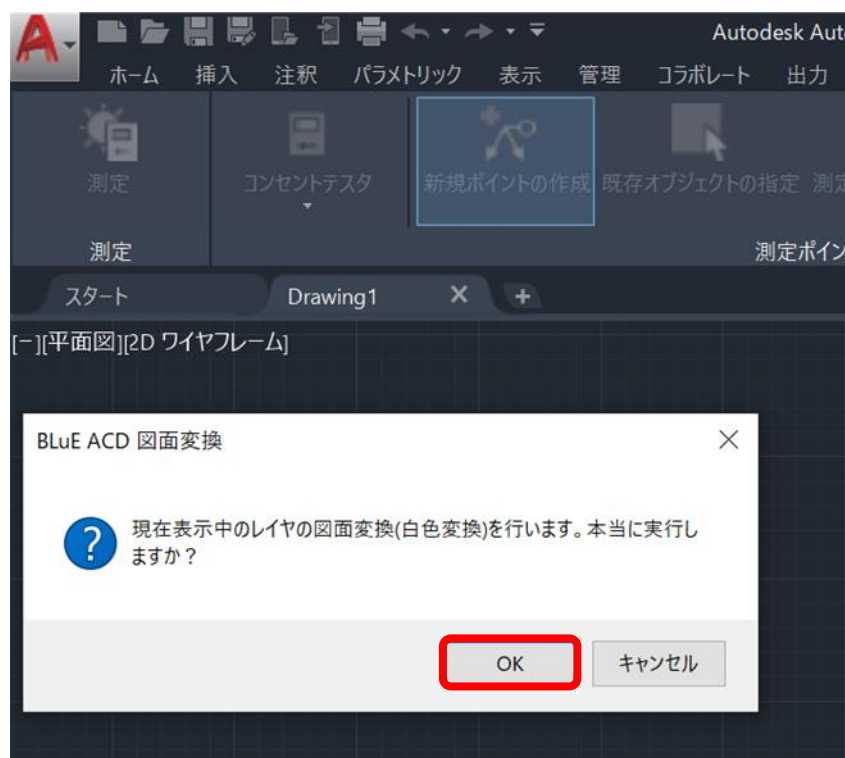
キャンセル : 次へ進む



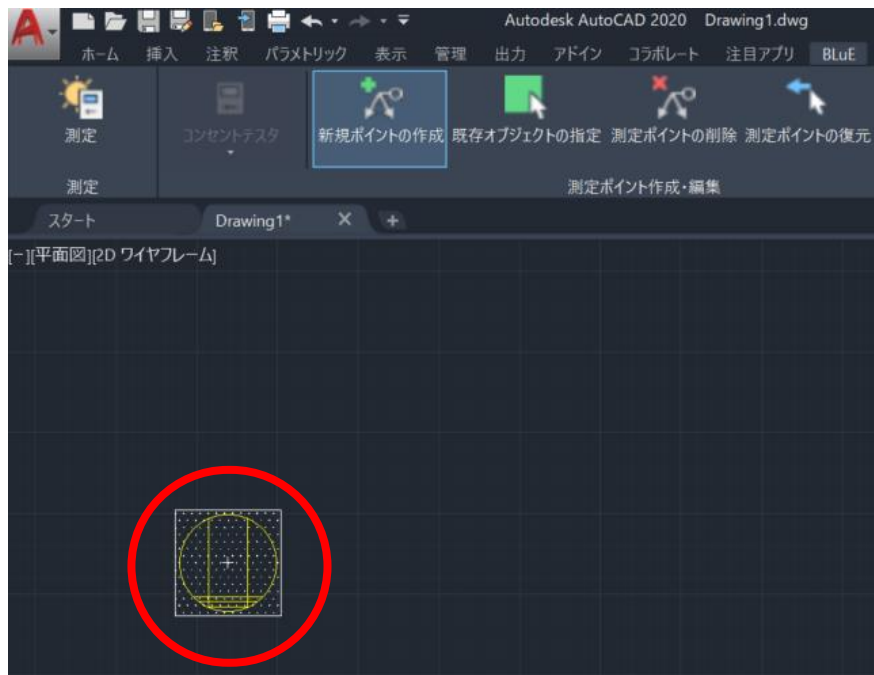
(4-1) 前述の図面変換ダイアログにて OK ボタン押下時、コンセントテストの測定ポイントを検索し、最終確認のダイアログを表示します。



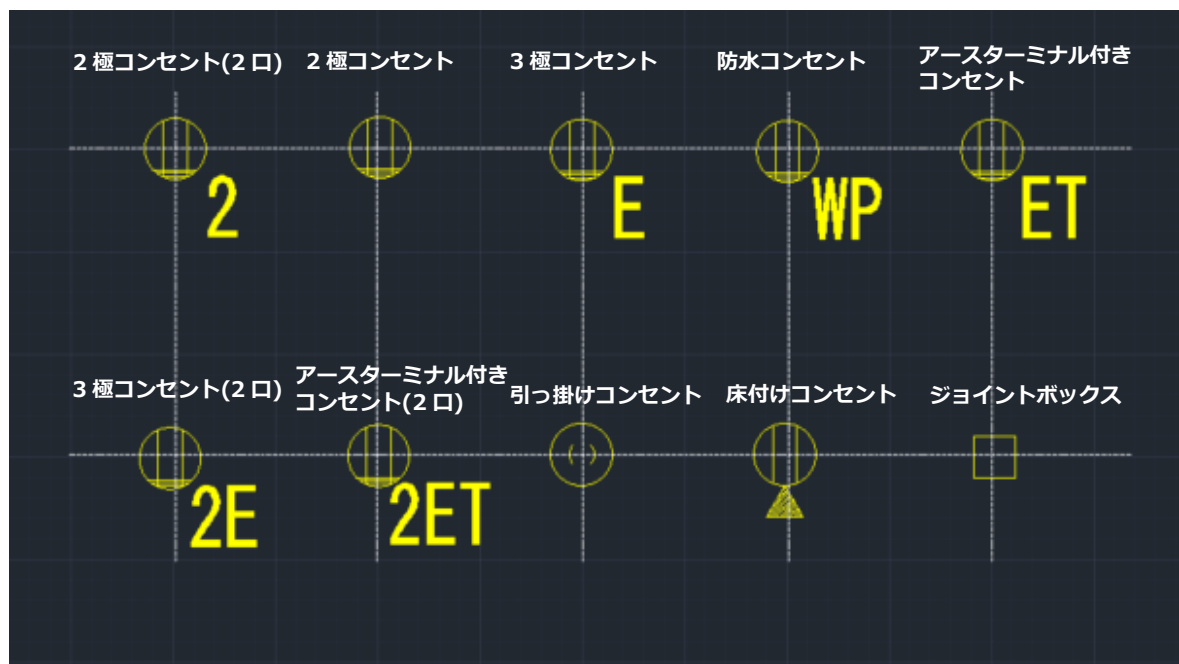
(4-2) 前述の図面変換ダイアログにてキャンセルボタン押下時、コンセントテストのレイヤを追加する最終確認のダイアログを表示します。



(5) 図面上の任意の箇所をピックすると測定ポイントが作成されます。



※ピックした座標位置が、下図の点線の交差部分になります。



(6) 測定ポイントは、連続ピックすると連続で測定ポイントを作成することができます。

(7) 測定ポイントの作成を終了する場合は、以下の方法で終了することができます。

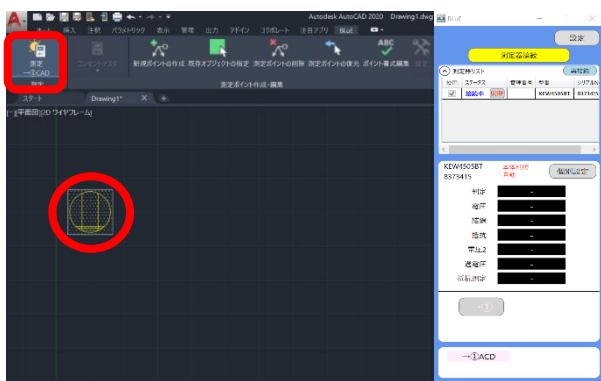
- ・ESC キーを押下
- ・リボンメニューの「新規ポイントの作成」を再度押下

4.3 測定器で測定した値を反映する

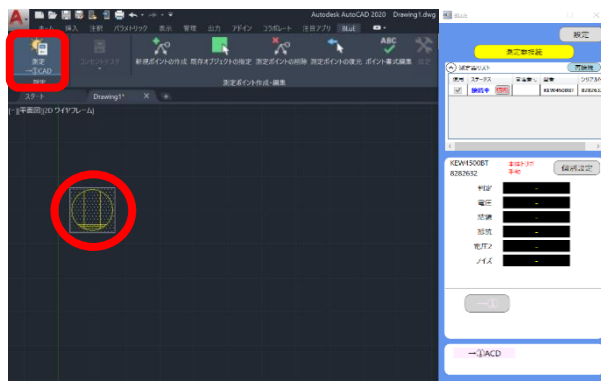
共通操作マニュアル(Windows_AutoCAD)を参照して、測定器との接続および測定値取得の開始まで完了させます。

(1) リボンメニューの「測定」ボタンを押下すると、該当する測定ポイントが網掛け表示されます。

■KEW4505BT

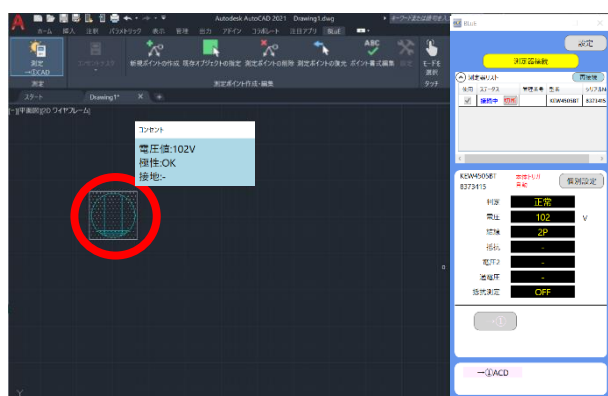


■KEW4500BT

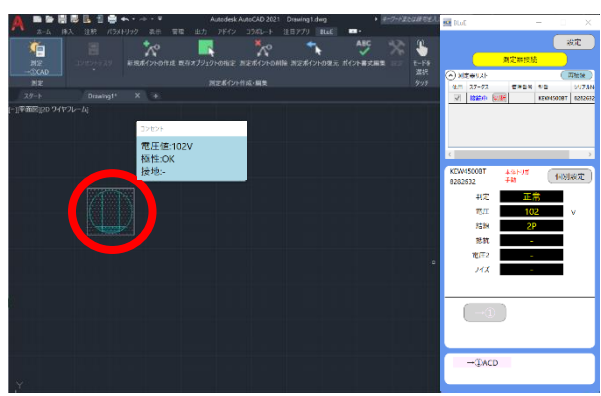


(2) 網掛けされた測定ポイントをピックすると、網掛けが青色に変化します。測定器の測定ボタンを押下すると測定ポイントに対して測定値が反映されます。

■KEW4505BT

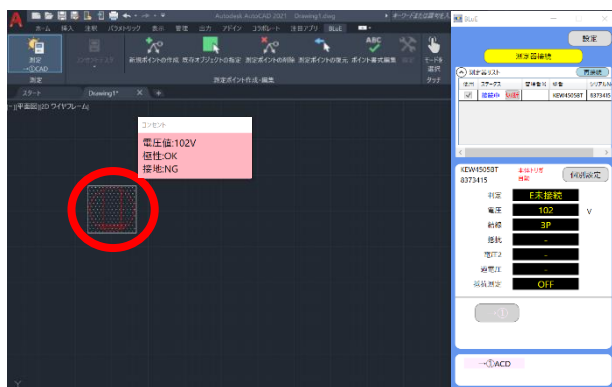


■KEW4500BT

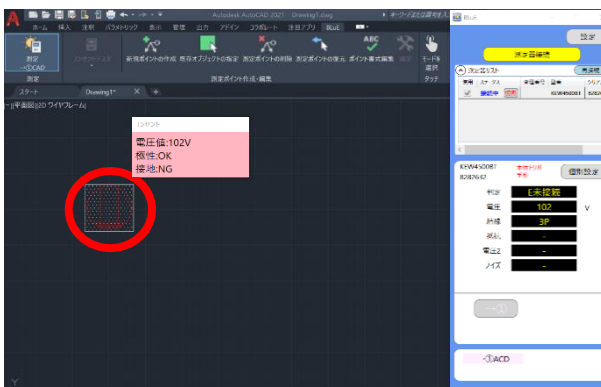


(3) 測定エラーの場合は、赤で表示されます。

■KEW4505BT

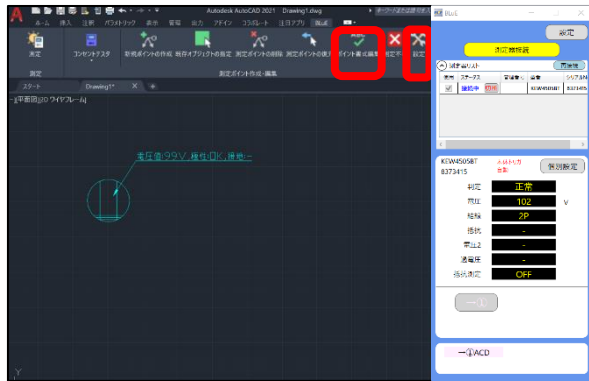


■KEW4500BT

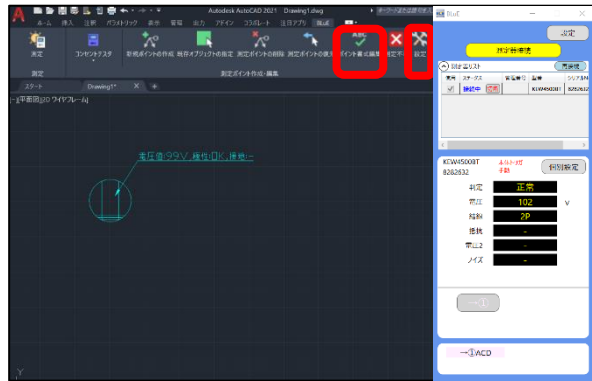


- (4) 測定結果の描画ルールがデフォルトでは、“ツールチップ”に設定されているため、測定結果はツールチップで表示されます。「ポイント書式編集」もしくは、「設定」で“引出線”に変更することができます。

■KEW4505BT



■KEW4500BT



※測定画面(BLuE)で接続している測定器と測定ポイントの測定種別が同じでないと測定値を反映することができません。

※測定画面(BLuE)が測定値を表示する画面になっていないと測定値を反映することができません。

※測定器との接続が切れている場合、下図のエラーダイアログが表示されます。

OK を押してエラーダイアログを閉じ、再度測定器との接続を行ってください。



(5) 測定を終了する場合は、以下の方法で終了することができます。

- ・ESC キーを押下
- ・リボンメニューの「測定」を再度押下

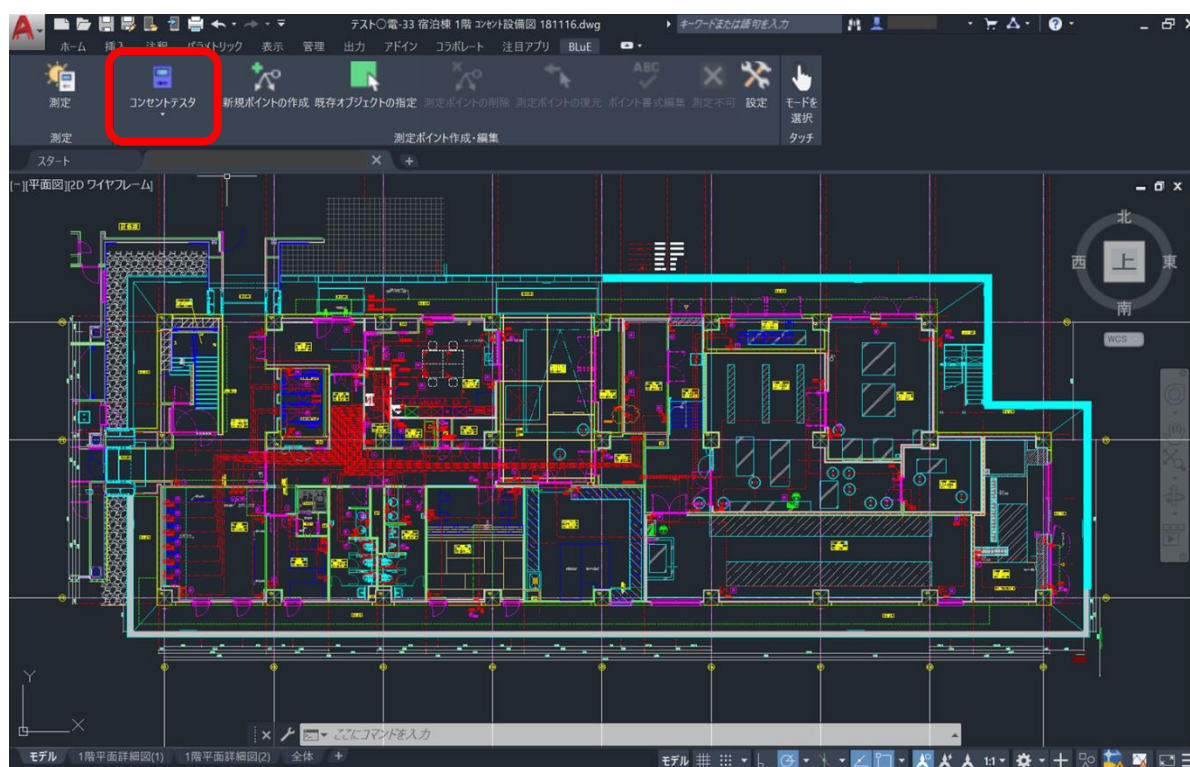
4.4 測定ポイントを既存オブジェクトから作成

図面上に描かれているコンセントシンボルを測定ポイントとして設定することができます。

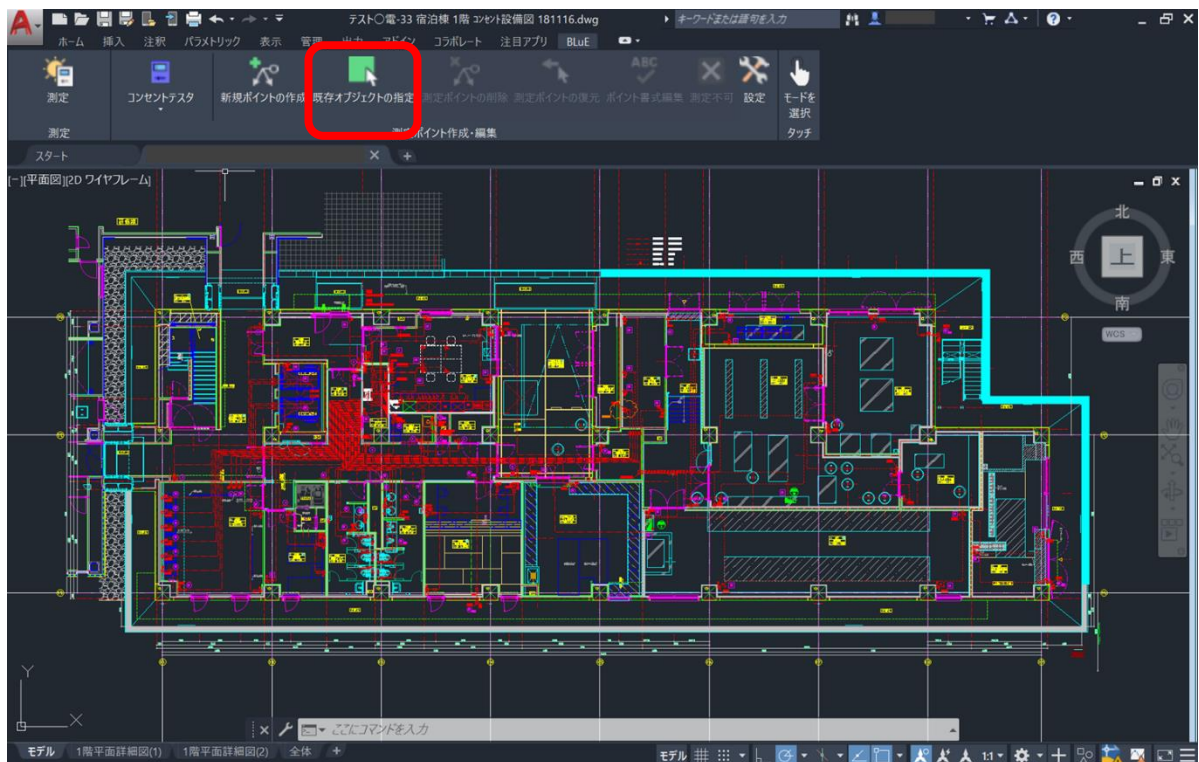
【注意点】

Tfas 等で作成したコンセント図面を DWG 変換する際、「DWG/DXF Ver を 2013 以上」に設定し、保存してください。「DWG/DXF Ver を 2013 以上」に設定していないと、動作しない恐れがあります。必ずご確認ください。

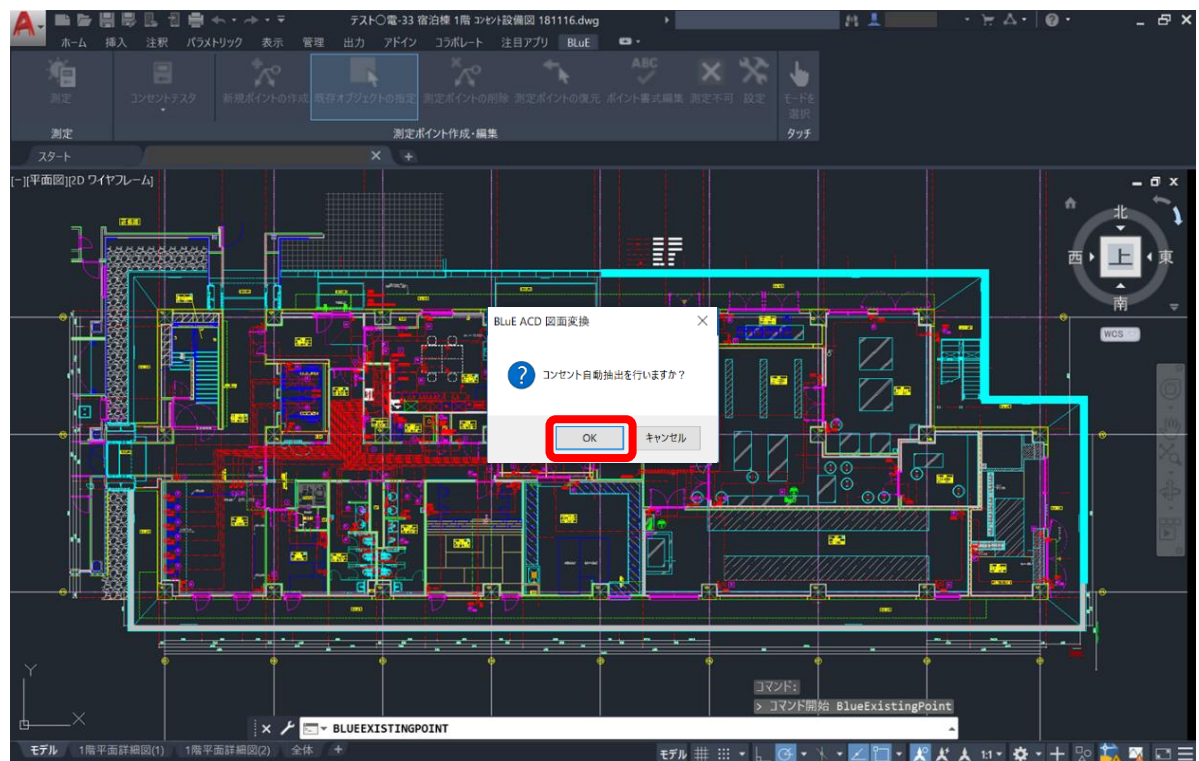
- (1) 上記注意点を確認したうえで、使用するコンセント図面を開きます。使用する図面を開いたら、種別選択を「コンセントテスト」に設定します。



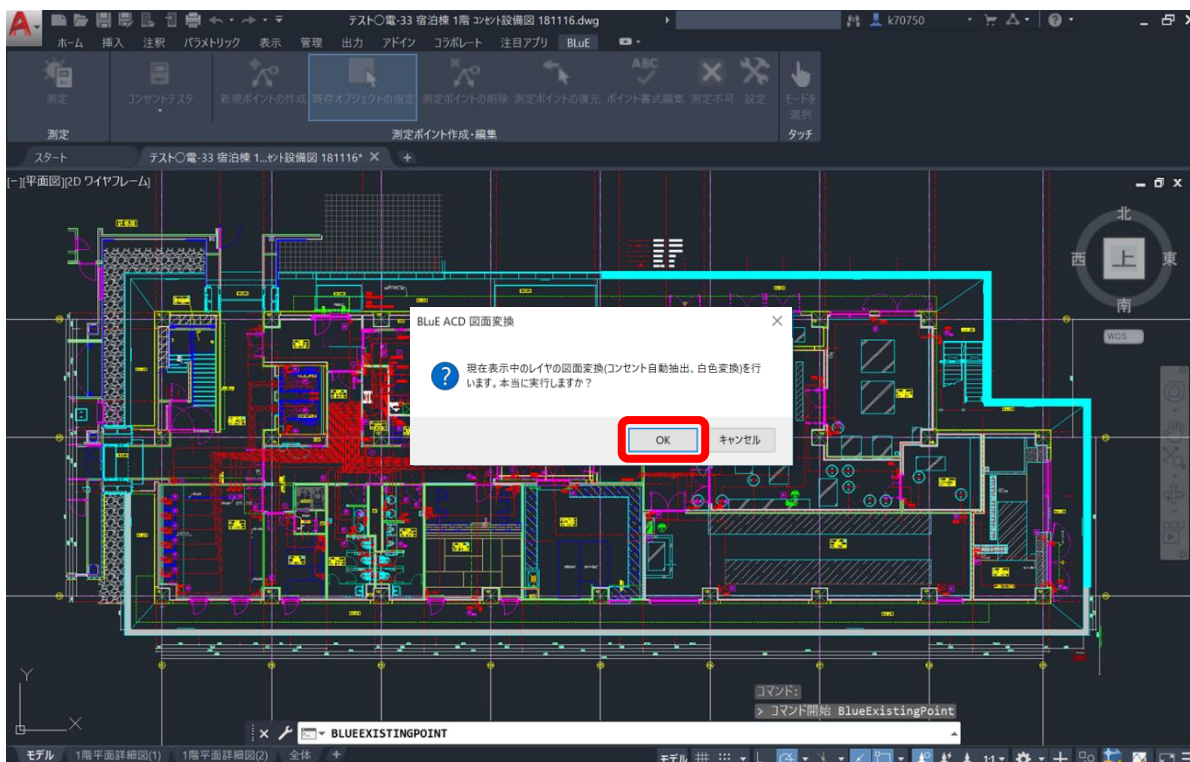
(2) 「既存オブジェクトの指定」ボタンを押下します。



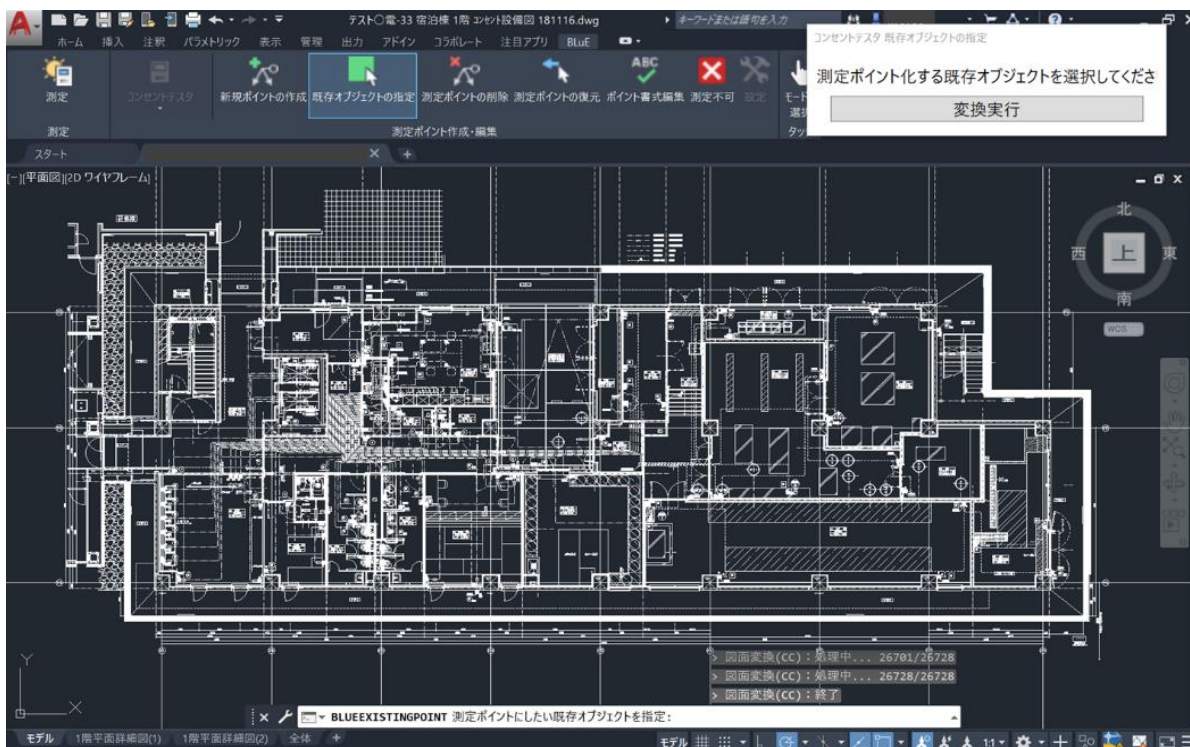
押下すると、図面上に描かれているコンセントシンボルの自動抽出を行うダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押下します。

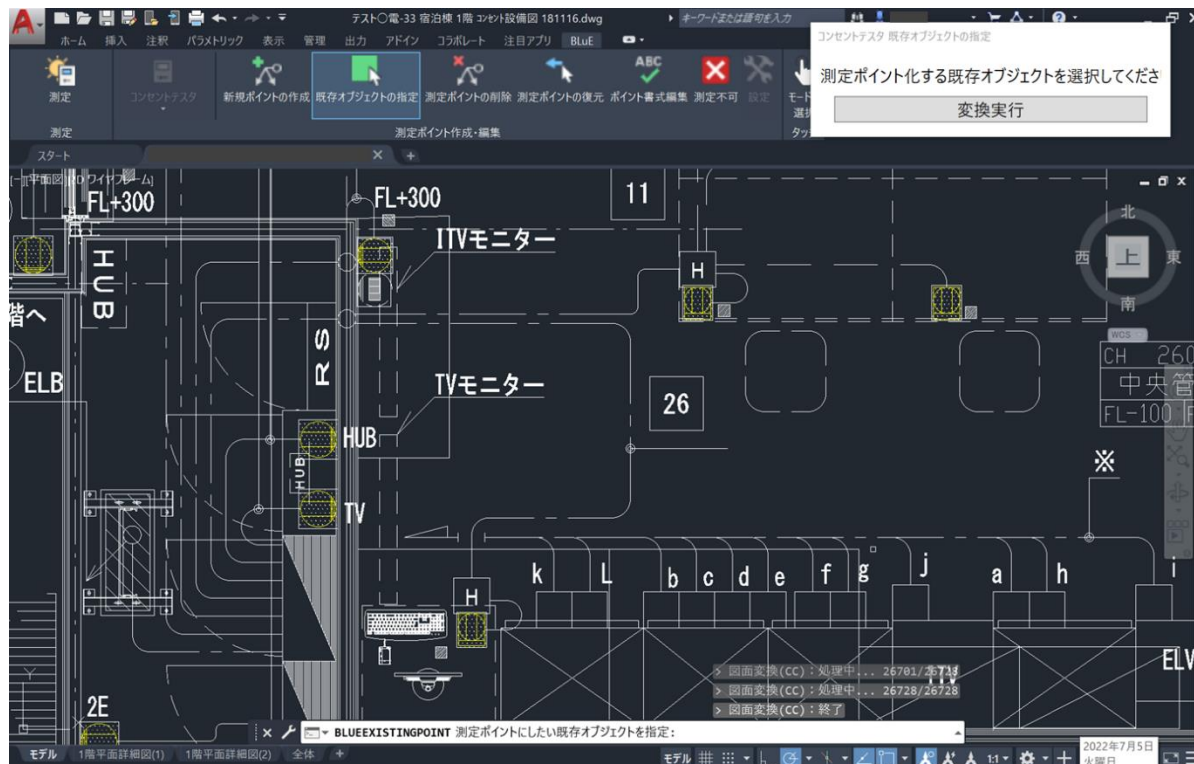


押下後、自動抽出したコンセントシンボル以外を強制的に白黒変換する旨のダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押します。



しばらくすると、コンセントシンボルだけが黄色で表示され、それ以外は白黒変換されます。
(図面自体のデータ容量によって、変換時間が異なります。)





上記手順によって、コンセントシンボルを測定ポイントとして設定することができます。

既存オブジェクトの指定を終了する場合は、以下の方法で終了することができます。

- ・ESC キーを押下
- ・リボンメニューの「既存オブジェクトの指定」を再度押下

4.4.1 測定ポイントの削除について

「既存オブジェクトの指定」で作成された測定ポイントを「測定ポイントの削除」で削除するとコンセントテストとして「[コンセントテスト]測定 P 解除済シンボル」のレイヤに移動し測定ポイントとして認識しない状態とします。よって、ピックアップした図形は削除（物理削除）されません。

4.4.2 測定ポイントの復元について

「既存オブジェクトの指定」で削除された測定ポイントを「測定ポイントの復元」で復元しようとしても復元することができません。

測定ポイントとして復元したい場合は、再度「既存オブジェクトの指定」で測定ポイント化することで元の測定ポイントに戻ることが可能となります。

4.4.3 ポイント書式編集

「既存オブジェクトの指定」で作成された測定ポイントを「ポイント書式編集」する場合、測定結果の描画ルール（引出線、ツールチップ）と測定結果のテキスト生成ルール（電圧/極性/接地（改行区切り）、電圧/極性/接地（カンマ区切り））のみ変更可能となります。

4.5 測定不可

- (1) 「測定不可」機能は、コンセントテストの測定ポイントに対して色で定義付けを行う機能になります。

黄色：測定ポイント作成時（未測定）

水色：測定を実施し、測定値が正常の場合

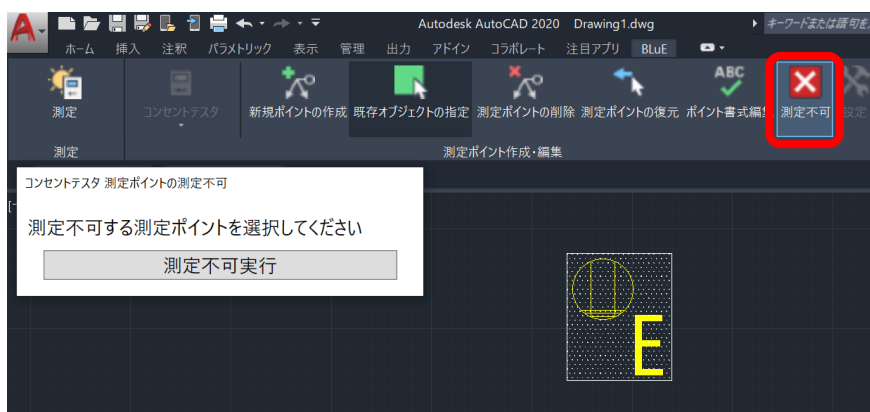
赤色：測定を実施し、測定値が異常の場合

青色：実物なし（「測定不可」機能で編集）

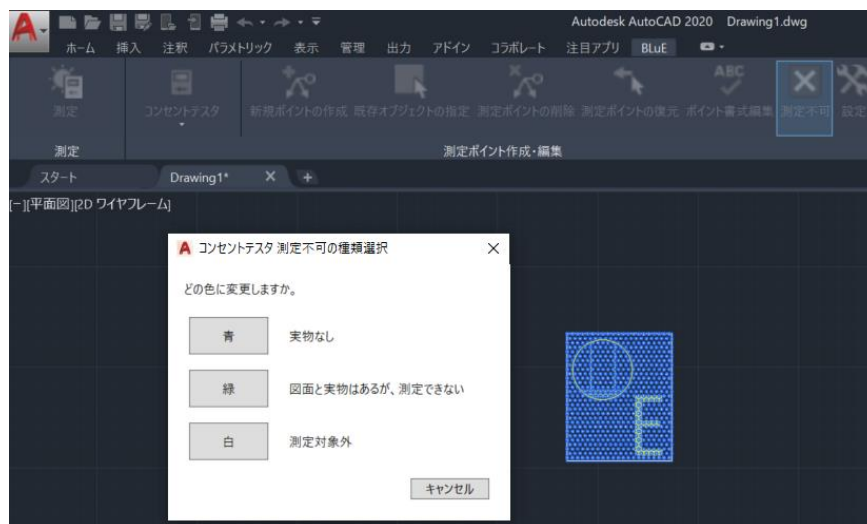
緑色：図面と実物はあるが、測定できない（「測定不可」機能で編集）

白色：測定対象外（「測定不可」機能で編集）

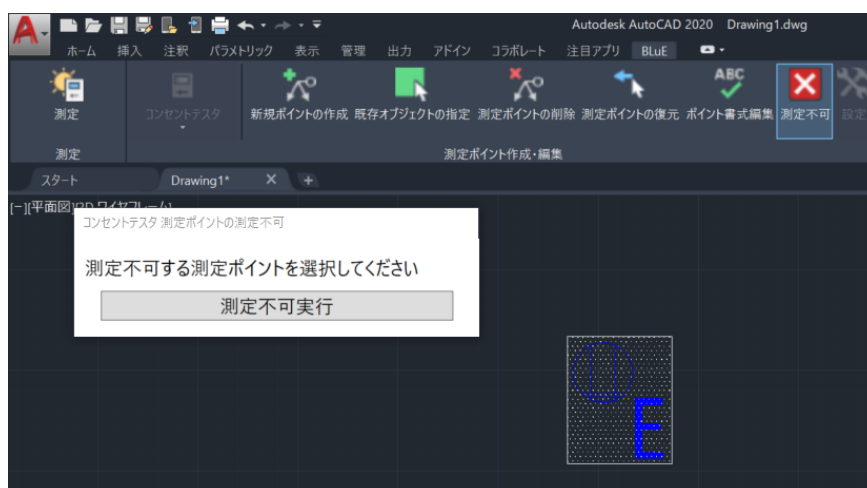
- (2) リボンメニュー「測定不可」を押下すると、コンセントテストの測定不可ダイアログが表示され、測定不可する測定ポイントをクリックします。



- (3) コンセントテストの測定不可ダイアログの測定不可実行ボタンを押下もしくは、マウスの右クリックで測定不可の種類選択ダイアログが表示されます。ここで青、緑、白のボタンを実態に合わせて押下します。



- (4) 測定ポイントの色が変更され、測定不可する測定ポイントのピック待ちになります。



- (5) 「測定不可」機能を終了する場合は、以下の方法で終了することができます。

- ・ESC キーを押下
- ・リボンメニューの「測定不可」を再度押下

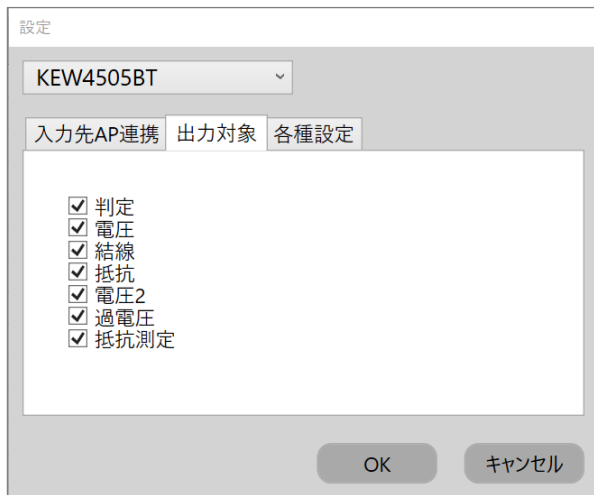
4.6 個別設定（出力対象）

個別設定画面では測定に関する設定が可能です。

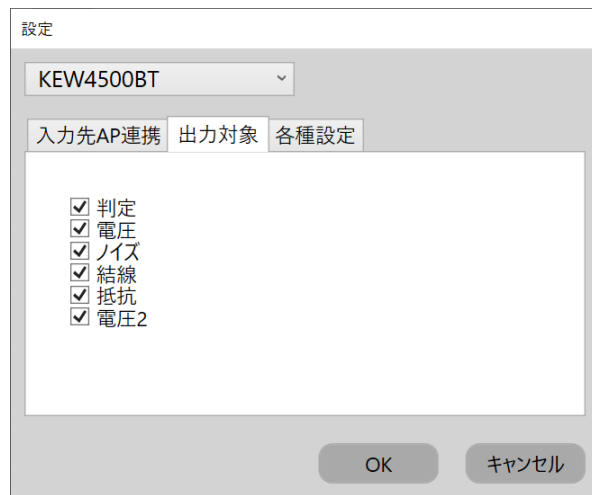
[出力対象]タブ以外の設定は共通操作マニュアルを参照してください。

(1) 測定画面(BLuE)の測定値を表示する項目を選択できます。

■KEW4505BT



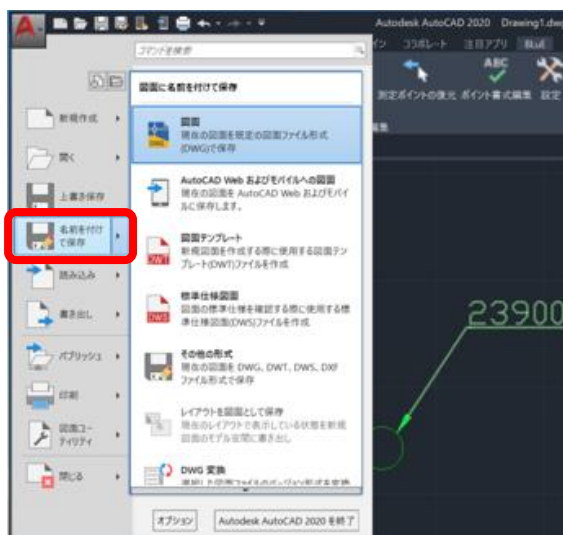
■KEW4500BT



4.7 システムを終了する

4.7.1 AutoCAD の図面ファイルを保存する

(1) 名前を付けて保存を選択し、図面ファイルを保存します。



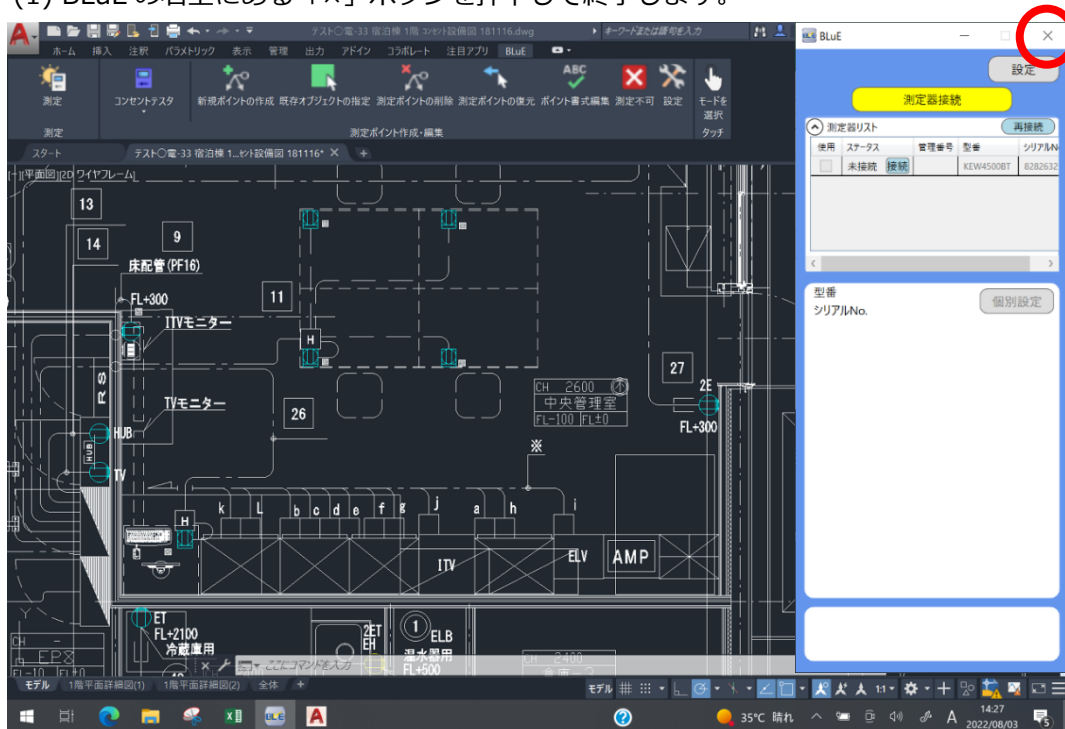
指定した保存場所に格納されます。

作業途中には、上書き保存で保存することをお勧めします。

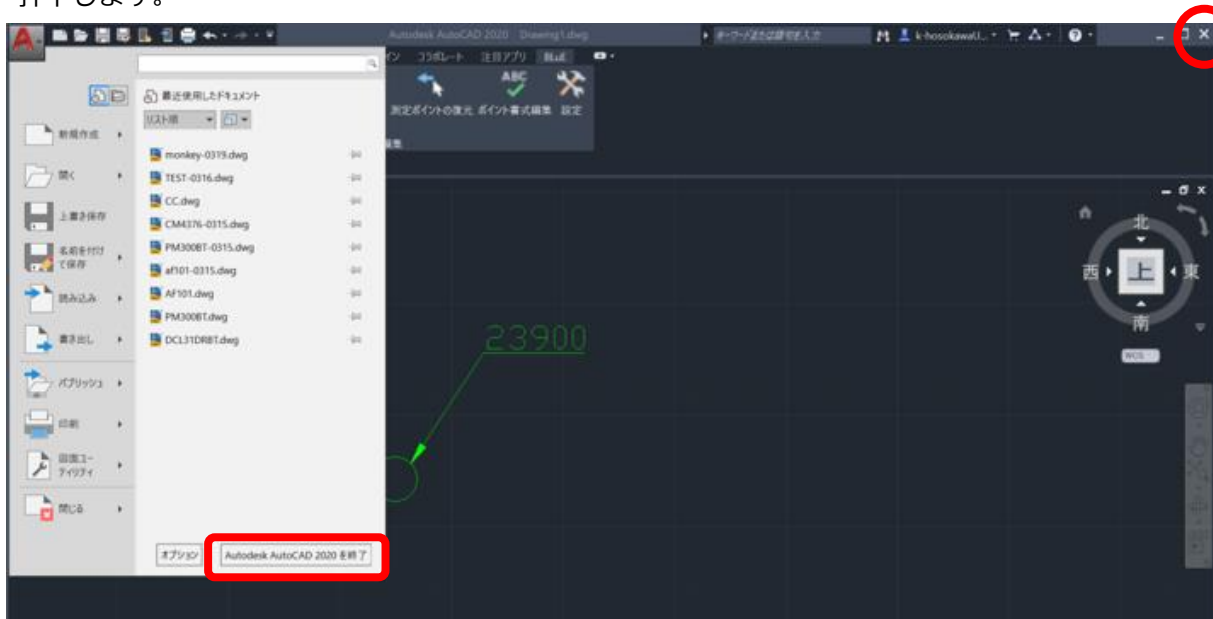
4.7.2 システムを終了する

共通操作マニュアル(Windows_AutoCAD)を参照して、測定器との切断および測定値取得の終了まで完了させます。

(1) BLuE の右上にある「×」ボタンを押下して終了します。



(2) AutoCAD ウィンドウ右上にある「×」ボタンもしくは、「Autodesk AutoCAD2020 を終了」を押下します。



正常にシステムが終了します。

5 FAQ

測定器

- Q. 測定器の使い方を知りたい。
- A. 測定器の説明書をご確認ください。

AutoCAD

- Q. AutoCAD の基本的な使い方を知りたい。
- A. AutoCAD のヘルプ、サポートをご確認ください。

新規ポイントの作成

- Q. 測定ポイントを作成したら、サイズが合わない。
- A. リボンメニューの「ポイント書式編集」で、サイズを変更可能です。0.5 倍～20.0 倍の変更が可能です。
- Q. 測定ポイントを作成したら、色が合わない。
- A. 「ポイント書式編集」では、色の変更はできません。測定ポイントの状態を表す「測定不可」機能にて色を変更してください。
- Q. 測定ポイントを作成したら、形状を変更したい。
- A. リボンメニューの「ポイント書式編集」で、形状を変更可能です。"2 極コンセント(2 口)"、"2 極コンセント"、"3 極コンセント"、"防水コンセント"、アースターミナル付きコンセント"、"3 極コンセント(2 口)"、"アースターミナル付きコンセント(2 口)"、"引っ掛けコンセント"、"床付けコンセント"、"ジョイントボックス"の 10 種類の変更が可能です。

その他FAQは、「共通操作マニュアル（Windows_AutoCAD）_第3版」をご確認ください。